

地域社会の経済発展月間 リソースのご案内

各資料名をクリックすると、電子ファイルをご覧いただけます。印刷物の販売、お取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

< 出版物 >

▶ [経済と地域社会の発展 プロジェクト戦略](#) (資料番号：619)

経済と地域社会の発展をめざすプロジェクト戦略を組むに当たり、地域社会のニーズに応える必要な調査のアイデアを事例と共に紹介します。ロータリー提供の参考資料/リソースを最大限に活用する方法がまとまった一冊となっております。

(2016年1月版)

▶ [ロータリーの重点分野](#) (資料番号：169)

6つの重点分野の活動を総合的に紹介した冊子です。各分野における世界的な課題、ロータリーの取り組みをプロジェクト例や関わった方々の声とともに紹介した、力強いビジュアルメインの冊子です。経済と地域社会の発展における紹介は、20-23ページをご参照ください。

(2018年1月版)

▶ [ロータリーの重点分野ガイド](#) (資料番号：965)

ロータリー「6つの重点分野」をプロジェクト例とともに簡潔に解説したパンフレットです。経済と地域社会の発展分野に関しては、13-14ページをご参照ください。

上記「169-JA ロータリーの重点分野」より、簡潔にまとめた資料です

(2015年5月版)

※各資料に出てくる重点分野の名称は変更前のものになっております。

💡 [当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ](#)

▶ [重点分野の基本方針](#) (2019年7月版)

▶ [「地域社会の経済発展」グローバル補助金 授与のガイドライン](#) (2018年7月版)

< RI ページ >

▶ 地域経済の発展（地域社会の経済発展）

ロータリーは、地域の人びとの自立へ向けたスキル指導、家計を支えるための就職支援などを通して、地域社会の自立、経済の発展を目指します。ロータリー6つの重点分野の一つ、「地域経済の発達/経済と地域社会の発展」分野での RI 活動紹介ページです。

< ウェブ掲載記事 >

▶ リンゴに込めた END POLIO の願い

私たちは、福島名産のふじリンゴに「END POLIO」の文字を型抜きしてチャリティ販売を行いました。結果は用意したリンゴ600個完売。募金も目標の3000ドルを超えました。

(2019年12月、ロータリーボイスより)

▶ まちを元気にする若者をつなげ 新たなインスピレーションを与える！

有田ロータリークラブは創立60周年記念事業として、「まちづくりサミット」を開催しました。参加者は若者を中心とし、行政関係やロータリアン合わせて200名程集まり、会場は満員でした。まちづくりのアジェンダとしては若者の参加、地域社会への貢献者の表彰、グループリーダーのパネルディスカッション、キーマンを生み出すなどの内容で実施されました。

(2019年7月、ロータリーボイスより)

▶ 地雷原をフルーツ畑に

ハイディ・クーンさんは、「地雷原がフルーツ畑に変わりますように！」というアイデアを実現するために、非営利団体 [Roots of Peace](#)（平和の根）を創設。今日までに何十万もの地雷や危険な軍事用品の撤去に取り組み、生まれ変わった大地を果樹園に変えて行きました。アフガニスタンのショマリ平原で大地を回復させ、ベトナムのクアンチ省で地雷を撤去し、黒胡椒の木とタロイモを植えました。さらに、農家が作物を市場に売り出す支援も行っています。

(2019年4月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

▶ タンザニアに「甲子園」球場が落成

2018年10月中頃、大阪北ロータリークラブが支援した「[タンザニア野球オリンピックチャレンジ支援プロジェクト](#)」という3カ年プロジェクトの一環として、タンザニアに野球場が建設されました。まだ黎明期にあるタンザニア野球がオリンピックへのチャレンジという高い目標を掲げ、また日本野球文化の普及を通して「正義、尊敬、規律」を学ぶことで、タンザニアの将来の成長を担う青少年の育成に寄与できるという信念がこのプロジェクトには込められています。

(2019年2月、ロータリーボイスより)

▶ なたね油で福島再生の可能性にかける

福島県の浜通り地区は、今も風評被害で農業経営が立ち行かない農業者も多く、離農・耕作放棄が進んでいます。郡山北ロータリークラブは福島大学と連携し、離農・耕作放棄が顕在化した福島被災地で、菜の花の栽培と搾油により安全・安心な食用油を生産することで、農業者の営農再開を後押しし、農地の保全・活用を図るプロジェクトに乗り出しました。

(2018年10月、ロータリーボイスより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ ロータリーボイス（日本語）は» [こちら](#)

< 映像資料 >

▶ 地域経済を支えるロータリー

経済をより良くし地域社会を開発し、雇用の機会を生み出すためにロータリーが実施している世界中の奉仕プロジェクトを紹介しています。

(2018年) [日本語、1分27秒]

▶ ホンジュラスでよいことをしよう

アデランテ財団はホンジュラスで女性の経済的自立の支援に取り組んでいます。彼らと協力しロータリーはグローバル補助金を利用し、現地の女性への小口融資とビジネス研修を支援しました。

(2015年) [日本語、2分43秒]

▶ 世界でよいことをしよう：地域経済の発展

元ロータリー親善奨学生は、インド・マッシュワールで地元の女性の経済的自立を支援する非営利団体を立ち上げました。最終的な目標は、女性を1000人支援し、結果児童労働と地域の慢性的な貧困の連鎖を断つことに繋げることです。

(2012年) [日本語、2分52秒]

▶ Rodeo Academy

オーストラリアのある地域では、就労の機会が少ないため道を外れてしまう子どもが問題になっていました。そこで民族の長老とニューファームロータリークラブは、彼らに変化をもたらす機会として「ロデオ」を教えるプログラムを始めました。

(2014年) [日本語、4分03秒]

➤ Sowing Hope

韓国のロータリアンによる「モンゴルに緑を」と名付けられたプロジェクトは、2005年以降モンゴルの各所に25万本もの木を植えました。防風林を植えることで、砂塵を減らし土地を守ることが最初の目的でしたが、地域の人々が自力で収入を得るためへの教育の提供へと拡大していきました。(2011年) [日本語、14分26秒]

➤ Make No Small Plans

1998年インド・カルカッタの4つの村は大洪水に襲われました。人びとは家を追われ飢え死につながる状態でした。そこで、現地のロータリアンは4つの村を総合的に開発するために動き始めました。「低コスト、広範囲、多くの人びとに影響のある」、グローバル補助金を利用した大規模プロジェクトの成功事例です。(2011年) [日本語、12分46秒]

■ Vimeo RI ページ（日本語）は» [こちら](#)

～ RI コンテンツのご利用にあたり ～

■ 国際ロータリーのウェブサイトの利用規約は» [こちら](#)